

.....

|                 |                                                                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ                                                                                                        |
| 2. 体験した事例の名称    | 傷病者をストレッチャーで搬送中、転倒させそうになった事例                                                                               |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | ストレッチャーで歩道部分を搬送中（足側から進行）、救急車内に収容するため頭側を90度方向転換しようとしたところ、点字ブロックにタイヤがひっかかり、さらに車道へと続くスロープで傾斜していたため転倒させそうになった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 隊員の路面状況の確認、安全管理の不足によるもの。                                                                                   |

.....

|                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 状況判断に問題があった。行動の実行に問題があった。 |
|------------------|---------------------------|

.....

|                                      |                           |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時                              | 平成 21 年 5 月 23 日 午前 10 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                         | 晴                         |
| 3. 発生した活動現場                          | 屋外：歩道                     |
| 4. 体験した事例の種類                         | 回答者が、他人を負傷させた。            |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場<br>合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。     |
| 6. どのようなことが起きたのか<br>（起きそうになったのか）     | 転倒、                       |
| 7. 事例体験時の活動                          | 救急現場活動中期、 [ ]             |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか         | 車両への収容、                   |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの<br>程度の頻度で体験していますか。 | これまでに 1, 2 回程度体験している。     |

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                        |                                                                                 |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 35 ]歳、 勤続年数[ 15 ]年、 現場経験年数[ 13 ] 年、 階級[ 消防司令補 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 車長 ] |
| ○当事者 B                 | 年齢[ 35 ]歳、 勤続年数[ 12 ]年、 現場経験年数[ 8 ]年、 階級[ 消防士長 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 機関員 ]   |
| ○当事者 C                 | 年齢[ 28 ]歳、 勤続年数[ 6 ]年、 現場経験年数[ 6 ]年、 階級[ 消防副士長 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 隊員 ]    |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) |                                                                                 |

## 11. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が       | なにをした              | その他・備考など |
|-------|-------------|--------------------|----------|
| 経過 1  | A・B・C (救急隊) | 現場到着               |          |
| 経過 2  | A・B         | 救急車へストレッチャー移動開始    |          |
| 経過 3  | A・B         | 車内収容のため、90 度方向転換   |          |
| 経過 4  | A・B         | ストレッチャーを転倒させそうになる。 |          |
| 経過 5  |             |                    |          |
| 経過 6  |             |                    |          |
| 経過 7  |             |                    |          |
| 経過 8  |             |                    |          |
| 経過 9  |             |                    |          |
| 経過 10 |             |                    |          |

【その事例発生時の状況について】

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

|                |
|----------------|
| 危険情報を把握、予見できた。 |
|----------------|

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい  |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |  |
|-----|--|
| いいえ |  |
|-----|--|